



高根沢町 「ゼロカーボンシティ」宣言

高根沢町のまちづくりにおける基本理念を記した、「高根沢町まちづくり基本条例」にはこのような前文があります。

私たちは、豊かな自然に恵まれ、伝統文化が息づく郷土高根沢を愛します。
今を生きる私たちは、先人から受け継いだ郷土高根沢をこれから生まれてくる子々孫々のために守り、希望のもてる町をつくる責任があります。
この責任を果たすため、私たち一人一人は、自分にできることは何かを常に考え、主体的に行動するとともに互いを思いやり、助け合う「結いの心」を持って活力あるまちづくりを進めていかなければなりません。
このような思いに基づき、私たちと町がまちづくりの基本理念を共有し、協働のまちづくりを実現するため、ここに高根沢町まちづくり基本条例を制定します。

この理念は町民一体となって先人から受け継いだ郷土高根沢を、これから生まれてくる子々孫々のために守り、希望の持てる町をつくっていくという、本町のまちづくりの根本です。

人類の大きな緊急の課題となった地球温暖化は、高根沢町にとっても、度重なる豪雨や猛威をふるう台風、気温の上昇など、私たち一人ひとりが、肌身をもってその脅威を感じる状況となっています。

私たちは、この地球を、高根沢町を守り、次の世代に引き継いで『希望のもてる町をつくる責任』があります。地域の環境を存続し、私たちの暮らしの持続性を確かなものとするため、私たちの高根沢町と日本全体の社会継続活動と地球上のあらゆる生命の生存の持続性を目指し、地球温暖化対策という大きな課題に、『主体的に行動するとともに、互いを思いやり、助け合う「結いの心」を持って』、高根沢町らしく取り組んでいくことを誓い、ここに「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指す、「ゼロカーボンシティ宣言」をします。

令和4年5月31日

高根沢町長

加藤公博